

愛知インターナショナルスクール消防計画(防火管理規程)

(目的)

第1条 この計画は、消防法第8条第1項の規定に基づき、愛知インターナショナルスクールにおける防火管理業務について必要な事項を定め、火災、震災その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第2条 この計画は、当建物に勤務し、出入りするすべての者に適用する。

(予防管理組織)

第3条 防火管理者、防火担当責任者、火元責任者が行う日常の任務は、次のとおりとする。

防火管理者 濱野 元英			
防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	職・氏 名	担当区域	氏 名
1 階	クリス・レッドパス	事務室	朝岡 富美
		Room 10	ペドレズエラ・テオ
		Room 11	セラルデ・ジャンユアリー
		Room 12	片野 愛理
		Room 13	シャシタ・ロガン
		Room 14	ジョシュア・コレット
2 階	ミーク・マイケル	職員室	野村 智子
		Room 20	チディンマ クイーンズリーヌワグボ
		Room 22	カルビン・ユー
		Room 23	サラ・ディビッドソン
		Room 24	スティーブ・モリス
		台所	白井 みどり

-J1-

(建物等の自主検査)

第4条 1 火元責任者は、自主検査票に基づき次の区分により自主検査を実施するものとする。

検査対象		実施月日	検査対象	実施月日
建築物	通路・階段等	1日2回	火気使用設備	毎日終業時
	防火区画	1日1回		

消防用設備等	1日1回		
--------	------	--	--

- 2 防火担当責任者は、火元責任者の実施した自主検査の結果を確認し、防火管理者に報告するものとする。
- 3 防火管理者は、報告された内容を防火管理台帳に記録するとともに、不備、欠陥があるものについては、管理権限者（鈴木誠）に報告し、改修を図らなければならない。

（職員等の遵守事項）

第5条 全職員は、火災予防及び火災発生時の避難確保のために、次の事項を遵守しなければならない。

（1）火気管理に関する事項

- ア 園児(生徒)等の手の届く所にマッチ、ライターを置かない。
- イ 火気使用器具は、使用前後に点検を行い、安全を確認する。
- ウ 厨房内は常に整理整頓し、グリスフィルター等は定期的に清掃する。
- エ 工事を行うときは、防火管理者を通じて、工事中の防火安全対策を樹立する。

（2）放火防止に関する事項

- ア 建物の周囲に可燃物を置かない。
- イ 死角となる廊下、階段室、トイレ等に可燃物を置かない。
- ウ 物置、空室等の施錠を行う。
- エ トイレ、洗面所等の巡視を行う。

（3）避難管理に関する事項

- ア 廊下、階段、通路には、物品（玩具、いす、自動販売機等）を置かない。
- イ 階段、非常口等に設けられている扉の開閉を妨げるような物品が置かれている場合は、直ちに除去する。
- ウ 上記において、物品を容易に除去できない場合は、防火管理者（濱野）又は防火担当責任者（クリス、ミック）に報告する。

-J2-

（消防用設備等の法定点検）

- 第6条 1 消防用設備等の機能を維持管理するために共栄設備株式会社に委託して次により法定点検を実施する。
- 2 防火管理者は、消防用設備等の法定点検の結果を防火管理台帳に記録するとともに、不備、欠陥があるものについては、管理権原者（鈴木誠）に報告し、改修を図らなければならない。
 - 3 消防用設備等の法定点検の結果は、1年(3年)に1回消防署長に報告しなければならない。

（自衛消防活動）

- 第7条 1 火災その他の災害が発生した場合、被害を最小限にとどめるため自衛消防隊を置く。
- 2 自衛消防隊の組織及び任務分担は次のとおりとする。

<p style="text-align: center;">○通報連絡班 班長(朝岡富美)ー班員(桑江 若菜)</p> <p>自衛消防隊長 (防火管理者) ○消火班 班長(ウエド・マイケル)ー班員(白井 みどり)</p> <p style="text-align: center;">○避難誘導班 班長(クリス・レッドパス)ー班員(ミック・マイケル)</p>	
任務分担	
通報連絡班	119番で消防機関へ通報する。 園(校)内への非常放送を行う。 関係者への連絡を行う。
消火班	消火器等による初期消火を行う。
避難誘導班	出火時における避難者の誘導を行う。 逃げ遅れた者の確認を行う。 避難器具により逃げ遅れた者を避難させる。

* 必要に応じ応急救護班、安全防護班を組織する。

-J3-

(震災対策)

第8条 震災時の災害を予防するため、次の事項を実施するものとする。

(1) 日常の地震対策

- ア ロッカー、自動販売機等の転倒防止措置を行う。
- イ 窓ガラス、看板、広告塔等の落下、飛散防止措置を行う。
- ウ 火気使用設備・器具からの出火防止措置を行う。
- エ 危険物等の流出、漏えい措置を行う。
- オ 高所に置かれた重量物は低所に移動する。
- カ 震災用の備蓄品を確保するとともに、定期的に点検する。

備蓄品目	数 量	備蓄場所
飲料水	100リットル	事務室
非常用食料(缶詰、乾パン等)	50食分	事務室
応急手当セット(三角布、包帯、医薬品、ばんそうこう、ガーゼ、はさみ等)	事務室・各教室用	事務室・各教室
懐中電灯、乾電池	2本	事務室

携帯用ラジオ	1個	事務室
--------	----	-----

※備蓄品内飲料水及び非常食にあっては、帰宅困難等により園(校)内に滞留が予想される職員数及び園児(生徒)数等を満たす数量を確保する。

(2) 緊急地震速報発表時の対応

- ア 緊急地震速報を確認した者は、その情報を周囲の者に知らせるとともに、身体保護の措置をとる。
- イ 照明器具等の落下危険がある場合には、速やかに安全な場所へ移動し身体保護の措置をとる。
- ウ 施設内の園児(生徒)等に対し情報を提供し、パニック防止及び安全確保に努める。

(3) 地震発生時の安全措置

- ア 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。
- イ 火気使用設備・器具の直近にいる職員は、元栓、器具栓の閉止及び電源遮断を行い、各火元責任者はその状況を確認する。
- ウ 防火担当責任者は、火災等二次災害の発生を防止するために建物、火気使用設備・器具、危険物施設等について点検・検査を実施し、防火管理者に報告するとともに、異常が認められた場合は応急措置を行う。
- エ 各設備・器具は、安全を確認した後に使用する。

-J4-

(4) 地震発生後の自衛消防活動

地震発生後において自衛消防隊は、次の活動を行う。

ア 情報収集・伝達

通報連絡班は、次のことを行う。

- (ア) テレビ、ラジオ等により情報の収集を行う。
- (イ) 必要な情報を職員に知らせる。

イ 警戒巡視

消火班は、次のことを行う。

- (ア) 火災発生の際の警戒及び被害状況の把握のため、建物内を巡視する。
- (イ) 落下、倒壊した物品で避難上障害となるものを除去する。
- (ウ) 建物内の被害状況等を防火管理者に報告する。

ウ 避難誘導

避難誘導班は、園児(生徒)等の混乱防止に努めるとともに次のことを行う。

- (ア) 園児(生徒)等を落ち着かせ、原則自衛消防隊長から指示があるまで待機させる。
- (イ) 園児(生徒)等の避難誘導を行う場合には、落下物からの頭部保護、倒壊物等による転倒防止等必要な指示を行う。
- (ウ) 園児(生徒)等を広域避難所(にじが丘公園)まで誘導する場合は、先頭と最後尾に職員等を配置して行う。
- (エ) 避難にあたっては、車両等を使用せず全員徒歩とする。

(東海地震注意情報発表時から警戒宣言が発令されるまでの措置)

第9条 1 東海地震注意情報の発表を知った職員は、直ちに防火管理者等に報告する。

- 2 報告を受けた防火管理者等は、テレビ、ラジオ等を通じて情報確認のうえ、各自衛消防隊員等に対し、速やかに警戒宣言が発令された場合の措置、任務分担等必要な事項を伝達指示するものとする。
- 3 職員及び園児(生徒)等に対し、放送設備により東海地震注意情報及び交通機関停止等、その他の情報について伝達し、帰宅を促すものとする。
- 4 東海地震注意情報発表時若しくは警戒宣言発令時の自衛消防活動に係る人員にあっては、必要最低限の人員確保を図った後、予め定めた計画に基づき職員の時差退社を行う。

-J5-

(警戒宣言発令時の対応策)

第10条

- 1 大規模地震対策特別措置法に基づく東海地震に関する警戒宣言が発令された場合、次のとおり対応する。

- (1) 授業をはじめとする教育活動を打ち切る。
- (2) 幼稚園、養護学校の幼児、児童、生徒は、保護者への引渡しを原則とする。ただし、引渡しまでの間は、学校、幼稚園で保護する。
- (3) 小学校の児童、生徒は、あらかじめ保護者との間で決められた下校の方法で帰宅させる。
- (4) 警戒宣言発令中は、学校等は休園(校)する。

- 2 自衛消防隊は、次の活動を行う。

(1) 情報収集・伝達

通報連絡班は、次のことを行う。

ア テレビ、ラジオ等により情報の収集を行う。

イ 職員等に対し、警戒宣言が発令された旨の情報伝達を行う。

(2) 応急対策

消火班は、次のことを行う。

ア 火気を使用する設備・器具の使用は原則として禁止するものとし、やむを得ない場合は、最小限とするとともに、監視人を置く等の措置を行うものとする。

イ 窓ガラス等の破損、散乱防止措置を行う。

ウ 照明器具、ロッカー、書類棚、OA機器、物品等の転倒・落下防止措置を行う。

エ 非常持出品の準備を行う。

(3) 安全誘導

避難誘導班は、次のことを行う。

ア 避難通路の確保、非常口の開放等を行う。

- イ 避難誘導班は、園児(生徒)等が混乱しないで下校できるように誘導する。
- 3 授業時間外に警戒宣言が発令された場合は、建物に残っている者が同条2項第2号に定める応急対策を行う。
- 4 職員等が休業日、休暇、退社後に警戒宣言の発令を知ったときは、原則として自宅待機とする。

-J6-

(教育訓練)

第11条 1 防火管理者等は職員等の防火知識並びに消防技術及び震災対応措置の向上を図るため、年2回以上防火・防災に関する教育及び訓練を行う。

2 防火管理者等が行う防火・防災に関する教育は、年一回以上実施する。

第12条 防火管理者は、防火管理の適正を図るため、常に消防機関との連絡を密にし、次の業務を行う。

- (1) 消防計画の作成(変更)届出
- (2) 防火指導の要請
- (3) 教育訓練指導の要請
- (4) 消防訓練実施の連絡
- (5) 消防用設備等の点検結果の報告
- (6) その他防火管理上必要な事項

附 則

この計画は、平成 29年 5月 29日から施行する。

更 新

この計画は、平成 30年 3月 20日に更新する。

この計画は、平成 31年 3月 23日に更新する。

この計画は、令和 2年 3月 18日に更新する。

この計画は、令和 2年 6月 15日に更新する。

この計画は、令和 3年 4月 1日に更新する。以降、毎年4月1日現在で、新しい職員配置を基に更新することとする。

この計画は、令和 7年 1月 15日に更新する。

この計画は、令和 7年 4月 1日に更新する。以降、毎年4月1日現在で、新しい職員配置を基に更新することとする。

-J7-



地震 (揺れが大きい)	火災
<ul style="list-style-type: none"> 地震が発生した、もしくは地震速報を発表した場合、児童を机の下へ潜るように指示する。 (通信連絡班) “地震だ。地震だ。直ちにしゃがんで、頭を守って、つかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。今すぐ、床へしゃがんで、机の下に頭を守って、机をつかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。” (揺れが収まって30秒ほど経過したら)児童・職員に、避難指示を出す。(避難誘導班) “地震が収まった。児童・職員は、速やかに公園に移動せよ。頭巾をかぶり、教師の指示に従って行動すること。” トイレや教室外にいる児童は、①近くの机等に潜り、頭を守る ②(揺れが収まって30秒ほど経過したら)可能な限り教室に戻り、クラスと共に行動する。(事前指導)校外の場合は、そのまま公園で待機する。 自衛消防隊長の指示により、各班長は班員を集め、消防計画により役割を果たす。 授業者は、児童に防災頭巾を着用させ、教室出口で並ばせて児童の人数を確認し、避難経路を通過して公園に移動する。(救急箱と生徒名簿を持つ) 避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、教室に戻ったり、靴を履き替えたりしない。(お・は・し・も) 全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。 学長は、1階と2階の全域を確認する。 学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること) 避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。 生徒と職員全員の安否を確認後、学長の判断で教室に戻る等の指示を出す。 (状況によっては、西山小学校へ避難誘導) ➤学長は、状況報告と今後の対応依頼のメールを保護者に発する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災を発見した職員は、①“火事だ。○○で火事だ”と叫ぶ。②ホール前の1階または2階の壁に設置してある火災報知機へ行き、報知機の小さな開け口を開き、中の黒いボタンを押す。小さなレバーを上引き、ベルが鳴る。 火災の発生場所を校内放送で伝え、1Fオフィス横の通報専用電話機を使って、直ちに消防署へ連絡する。(通信連絡班) “○○で火災が発生した。児童・職員は、速やかに公園に移動せよ。ハンカチで口・鼻を押さえ、教師の指示に従って行動すること。” トイレや教室外にいる児童は、可能な限り教室に戻り、クラスと共に行動する。(事前指導)安全に校内へ避難するように事前に指導すること。校外の場合は、そのまま公園で待機する。 自衛消防隊長の指示により、各班長は班員を集め、消防計画により役割を果たす。 授業者は、児童にハンカチで口・鼻を押さえさせ、教室出口で並ばせて児童の人数を確認し、避難経路を通過して公園に移動する。(救急箱と生徒名簿を持つ) 避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、教室に戻ったり、靴を履き替えたりしない。(お・は・し・も) 全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。 学長は、1階と2階の全域を確認する。 学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること) 避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。 生徒と職員全員の安否を確認後、学調の判断で教室に戻る等の指示を出す。 (状況によっては、西山小学校へ避難誘導) ➤学長は、状況報告と今後の対応依頼のメールを保護者に発する。

Purpose

Article 1 In accordance with Article 8-1 of the Fire Services Act, the purpose of this plan is to stipulate the fire prevention requirements of Aichi International School, and to outline the said establishment's protection measures for safeguarding human lives from fires, earthquakes and other disasters.

Coverage

Article 2 This plan applies to all persons employed at and entering the said establishment's building.

Preventive Management Organization

Article 3 The establishment's fire protection manager, persons in charge of fire protection, and fire prevention assistant supervisors are as follows:

Fire Protection Manager Motofusa Hamano (Vice Principal of Ele)			
Persons in Charge of Fire Protection		Fire Prevention Assistant Supervisors	
Location	Position/Name	Location	Name
1 st floor	K Principal Chris Redpath	Office	Fumi Asaoka
		Room 10	Pedrezuela Theo
		Room 11	January Ceralde
		Room 12	Airi Katano
		Room 13	Shasta Logan
		Room 14	Joshua Collett
2 nd floor	Elementary Principal Michael Meek	Teacher's room	Tomoko Nomura
		Room 20	Chidinma Queensley Nwagbo
		Room 22	Calvin Yu
		Room 23	Sarah Davidson
		Room 24	Stephen Morris
		Kitchen	Midori Shirai

Self-inspection of Building etc.

Article 4

- 1.Fire prevention assistant supervisors shall carry out self-inspection of designated areas in accordance with the table below.

Area of inspection	Frequency	Area of inspection	Frequency
--------------------	-----------	--------------------	-----------

Building	Corridors, stairs, etc.	Twice a day	Fire-use facilities	End of each day
	Fire protection area	Daily		
Fire apparatus etc.		Daily		

2. Persons in charge of fire protection shall confirm the self-inspection results of fire prevention assistant supervisors, and report to the fire protection manager.
3. The fire protection manager shall record the reported findings in the fire protection management log, as well as report any deficiencies and/or faults to Makoto Suzuki (Management Authority), who will endeavor to see necessary improvements and/or repairs are made.

Duties of Staff

Article 5 In order to prevent fires and enable safe evacuation in the event of a fire, all staff members must adhere to the following:

- (1) Fire management
 - a. Matches and lighters must be kept out of the reach of children.
 - b. Fire-use equipment shall be inspected before and after use to confirm safe working order.
 - c. The kitchen shall be kept tidy, with periodic cleaning of the ventilator etc. to be carried out.
 - d. During any construction, the fire protection manager shall establish a fire prevention and safety plan.
- (2) Arson prevention
 - a. Flammable objects must not be kept around the vicinity of the building
 - b. Flammable objects must not be kept in blind areas of corridors, stairwell rooms, toilets, etc.
 - c. Sheds and vacant rooms, etc. shall be kept locked.
 - d. Conduct patrols of toilets and laundry areas, etc.
- (3) Evacuation management
 - a. Objects (toys, chairs, vending machines, etc.) should not be kept in corridors, stairs or passages.
 - b. Any objects which obstruct the opening or closing of doors to stairs or emergency exits shall be removed immediately.
 - c. Any objects which cannot be removed easily shall be reported to Motofusa Hamano (fire marshal) and to Chris Redpath and Michael Meek (Fire prevention supervisor).

Regulatory Inspection of Fire Protection Equipment

Article 6 1. In order to maintain the function of fire protection equipment etc., Kyoei Setsubi Ltd. is commissioned to conduct regulatory inspection as stated below.

2. The fire protection manager shall record the results of regulatory inspections in the fire protection management log, as well as report any deficiencies and/or faults to Makoto Suzuki (Headmaster), who will endeavor to see necessary improvements and/or repairs are made.
3. The results of the regulatory inspection of fire protection equipment etc. must be

reported to Makoto Suzuki (jurisdiction fire department) once a year.

Fire Defense Activities

Article 7 1. A fire defense team shall be organized in order to minimize injury and/or damage in the event of a fire or other disaster.

2. The organization and duties of the fire defense team are as follows.

Communications	
Leader (Asaoka) — Members (Kuwae)	
Fire Defense Chief Firefighting (Fire Protection Leader (Wade) — Members (Shirai) Manager, Assistant)	Evacuation
Leader (Redpath) — Members (Meek)	
Duties	
Communication team	Call 119 to notify the fire station. Make an emergency announcement throughout the school. Contact relevant persons.
Firefighting team	Carry out initial firefighting with fire extinguishers etc.
Evacuation team	Guide evacuees to safety in the event of a fire. Confirm any persons remaining in the building. Evacuate those remaining in the building using evacuation equipment.

*If deemed necessary, a first-aid team and safety team shall be organized.

Earthquake Measures

Article 8 In order to prevent injury or damage in the event of an earthquake, the following measures shall be implemented.

(1) Daily earthquake measures

- a. Attachments shall be used to prevent lockers etc. from tipping over.
- b. Measures shall be taken to prevent falling or scattering of window glass, signs, etc.
- c. Devices to prevent fires starting from fire-use equipment shall be used.
- d. Measures shall be taken to prevent the outflow or leaking of hazardous materials.
- e. Heavy objects stored in high places shall be moved to a low position.
- f. Supplies for use following an earthquake shall be kept and regularly inspected.

Supply item	Quantity	Location
Drinking water	100 liters	1F office
Emergency-use food (canned goods, dry biscuits, etc.)	50 meals	1F office
First-aid kit (incl. sling, bandages, medicines, plasters,	One per room	1F office/

gauze, scissors, etc.)		each classroom
Torches, batteries	2	1F office
Portable radio	1	1F office

*Drinking water and emergency-use food kept on site for staff and/or students who may have difficulty returning home and need to remain at school.

(2) In the event of an earthquake early warning:

- a. The person who confirms the earthquake early warning shall notify all those in the vicinity, as well as take measures to protect one's self.
- b. Swiftly move to a safe location and protect one's self if there is a danger of falling light fittings etc.
- c. Strive to provide information to children etc. within the building in order to alleviate panic and protect their safety.

(3) Safety measures in the event of an earthquake

- a. The first priority following an earthquake is to protect one's own safety.
- b. Any staff members in the vicinity of fire-use equipment/appliances should switch off the gas and/or electricity to these items, and confirm status to the relevant fire prevention assistant supervisor.
- c. In order to prevent a secondary disaster, the persons in charge of fire protection shall inspect buildings, fire-use equipment/appliances, facilities for dangerous goods, etc. and report to the fire protection manager, as well as conduct any emergency measures if abnormalities are found.
- d. Equipment and appliances can be used after checking it is safe to do so.

(4) Self-defense activities following an earthquake

In the event of an earthquake, the self-defense team shall conduct the following activities.

a. Information gathering and communication

The communication team shall undertake the following:

- (i) Gather information from TV and radio, etc.
- (ii) Pass on necessary information to staff.

b. Lookout patrol

The firefighting team shall undertake the following:

- (i) In order to ascertain the precaution or damage status, a patrol of the building interior shall be conducted.

(ii) Any fallen or collapsed objects which could obstruct evacuation should be removed.

(iii) Report the damage status of the building interior to the fire protection manager. c.

Evacuation guidance

- c. The evacuation guidance team shall strive to prevent confusion among students, as well as undertake the following:

- (i) Try to keep students calm, and have them wait until instruction is received from the fire defense chief.
- (ii) When evacuating students, instruction should be given to protect one's head from

- falling objects, and to take care not to trip over collapsed materials.
- (iii) When evacuating students to the evacuation area (Nijigaoka Park), a staff member should be at the front and back of the group.
 - (iv) All persons should walk during an evacuation and should refrain from using vehicles.

Measures to be taken after a Tokai Earthquake advisory has been issued and until an official warning is announced

- Article 9 1. Staff members who are aware of an announcement of a Tokai Earthquake advisory should immediately notify the fire protection manager etc.
- 2. The fire protection manager etc. who receives the notification should confirm the information via TV, radio, etc. Following which, each member of the self-defense teams should give swift instructions of required measures and duties should an official warning be issued.
 - 3. Staff and students should be informed via broadcasting system of the Tokai Earthquake advisory, disruption of transportation services, and other information, and prompted to return home.
 - 4. In the event a Tokai Earthquake advisory or official warning is announced, only necessary fire defense team members should remain at school, while other staff should be advised to return home in accordance with prearranged plans.

Measures to be taken in the event an official warning is announced

Article 10 1. In accordance with the Large-Scale Earthquake Countermeasure Act, in the event that an official warning regarding the Tokai Earthquake is issued, the following measures shall be taken.

- (1) Educational activities, including classes, shall be halted.
- (2) Kindergarten students shall, in principle, be handed over to parents. However, the school shall look after students until parents can collect their children.
- (3) Elementary school students should be sent home in accordance with prior arrangements made with parents.
- (4) When an official warning is in place, school shall be canceled.

2. The fire defense team shall conduct the following:

- (1) Information collection/ communication

The communication team shall conduct the following:

- a. Gather information from TV, radio, etc.
- b. Communicate information regarding official warnings to staff members.

- (2) Emergency measures

The firefighting team shall conduct the following:

- a. In principle, prohibit the use of fire-use facilities/equipment; however, in the event that such items need to be used, use as sparingly as possible, and take measures to secure safety, such as appoint a supervisor.
- b. Take measures to prevent window glass from breaking or scattering.

- c. Take measures to prevent light fittings, lockers, shelves, office equipment, other objects, etc. from falling or tipping over.
- d. Prepare evacuation materials.
- (3) Safety guidance
The evacuation team shall conduct the following:
 - a. Secure a safe evacuation route and open emergency exits etc.
 - b. The evacuation team should give guidance to students so that they are able to return home without trouble.
- 3. In the event that an official warning is issued outside of class time, any persons remaining in the building should follow the emergency procedures stipulated in Article 10 2-(2).
- 4. In principle, staff who are on holiday or have returned home for the day when an official warning is issued shall remain at home.

Education

Article 11 In order to increase fire protection knowledge, fire control techniques, and earthquake measures among staff, the fire protection manager etc. shall conduct fire and earthquake training/drills at least twice a year.

Article 12 In order to fulfill appropriate fire protection measures, the fire protection manager shall be in regular contact with the jurisdiction fire department regarding the following:

- (1) Fire protection plan (amendment)
- (2) Requests for fire protection instruction
- (3) Requests for training instruction
- (4) Implementation of fire training drills
- (5) Reporting of inspections of fire protection equipment etc.
- (6) Other necessary fire protection matters

Supplementary

This plan comes into effect from May 29, 2017.

Updates:

Thereafter, the staffing shall be updated as of April 1 of each year, based on the new staffing.

This plan was updated Jun 1, 2024.

This plan was updated Apr 1, 2025.

Aichi International School Emergency Response & Evacuation Procedure

Earthquake (severe)	Fire
1. Instruct the children to take cover under their desks. (Communication Team) "Earthquake! Earthquake! Immediately squat down,	1. The staff member who discovers the fire should: Shout, "It's a fire. There is a fire at @@." Go to the fire alarm located on the wall of the first or second floor in



protect your head, and hold onto something. Squat down, protect your head, and hold onto something. Now, squat down to the floor, protect your head under the desk, and hold onto the desk. Squat down, protect your head, and hold onto something."

2. (After about 30 seconds when the shaking subsides) Issue evacuation instructions to the children and staff. (Evacuation Guidance Team)

"The earthquake has subsided. Children and staff should quickly move to the park. Put on your disaster prevention hat and follow the teacher's instructions."

Children outside the restroom or classrooms:

Seek cover under a nearby desk, protecting your head. (After about 30 seconds when the shaking subsides) Return to the classroom if possible and act with the class.

(Preliminary Instructions) If outside the school, wait in the park.

3. The leader of the self-defense fire brigade will direct the team leaders to gather their members and fulfill their roles according to the fire response plan.

4. The teacher should ensure that children wear their disaster prevention hats, line up at the classroom exit, check the number of children, and move to the park following the evacuation route. (Carry a first aid kit and student roster)

5. During the evacuation, children should not push, run, talk, return to the classroom, or change shoes. (Do not push, run, talk, return, or change shoes.) The principal should check the entire first and second floors. **The principal will carry the student and staff rosters (and keep them updated).** If there are delays or issues with evacuation, immediately report it to the emergency response team. After confirming the safety of all students and staff, the principal will issue instructions, such as returning to classrooms, depending on the situation. (If necessary, guide evacuation to Nishiyama Elementary School.)

The principal will send an email to parents with a situation report and further instructions.

6. All classes should gather at the park in front of the school. After the evacuation, the homeroom teacher should confirm the number of children again.

front of the hall, open the small opening on the alarm, press the black button inside, and pull the small lever upwards. This will trigger the bell.

2. The location of the fire should be communicated through the school's public announcement system. Immediately use the emergency telephone next to the office on the first floor to contact the fire department. (Communication team)

"A fire has occurred at ☺☺. Students and staff should move to the park quickly. Cover your mouth and nose with a handkerchief and follow the teacher's instructions."

3. Students outside the restroom or classrooms should return to their classrooms, if possible, and act with their class. (Pre-evacuation guidance) They should be instructed in advance on how to safely evacuate the building. If they are outside the school, they should wait at the park.

4. Under the direction of the self-defense fire team leader, each group leader will gather their team members and perform their duties according to the fire plan.

5. The teacher should have students cover their mouths and noses with handkerchiefs, line them up at the classroom exit, check the number of students, and lead them along the evacuation route to the park. (Carry the first aid kit and class roster)

6. During evacuation, students should not push, run, talk, return to classrooms, or change shoes. (Remember: "O, Ha, Shi, Mo"). All classes should gather at the park in front of the school. After evacuation, the homeroom teacher should reconfirm the number of students. The principal should check both the first and second floors of the entire building. **The principal should bring the student and staff rosters. (Always update the information).** If anyone is delayed or unable to evacuate, immediately inform the emergency responders.

7. After confirming the safety of all students and staff, the principal will issue further instructions, such as returning to classrooms. (Depending on the situation, students may be directed to evacuate to Nishiyama Elementary School.)

8. The principal will send an email to parents with a report on the situation and instructions for further action.